

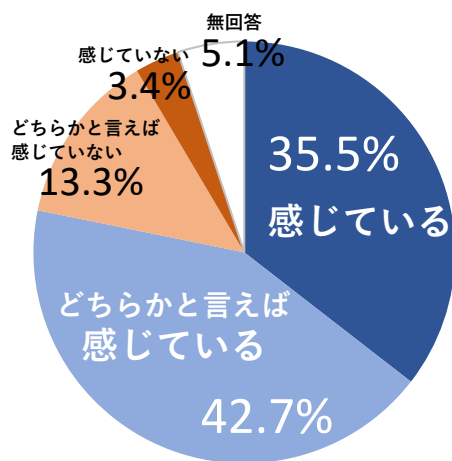
日常生活での悩みや不安を感じる人は

78.2%

(内閣府国民生活調査/2024年8月)

“悩みや不安を感じる人”は、2023年11月調査よりも、2.3ポイント増えています。5人のうち4人が悩みや不安を抱えています。

生活にいちばん近い基礎自治体の役割は大切です。困っている人にもっと寄りそう小金井市に。政治の役割である困っている人を生み出さない仕組みづくりに引き続き力を尽くしていきます。



もっと

困っている人に
寄りそう小金井を
めざします



小金井市議会議員 3期9年・無所属

Vol.85 特別号

坂井えつ子
のつながる小金井通信

2025年2月18日

160億円かけるべきは 地方議員の厚生年金加入ではなく 物価高対策です

■ 国民の要望は「物価対策」

2024年12月の議会で“地方議員の厚生年金加入を求める意見書”(正式名称:多様な人材の地方議会への参画推進を求める意見書)が可決してしまいました。これにより全国で年間、税金が160億円かかるとされています。民間調査会社によると、2月は1,656品目も値上げ!税金は、多くの国民が求めている物価高対策に使うべきです。(内閣府国民生活調査/2024年8月)

政府に対する
国民の要望
第1位
物価対策
(66.1%)

■ 国民年金の底上げこそ必要

公的年金の加入者は約6,700万人、そのうち国民年金だけの加入者は2,100万人、約30%を超えています。国民年金だけでは老後の生活は困難です。地方議員だけ国民年金から厚生年金に加入するのではなく、国民年金の底上げが求められているのではないのでしょうか。

採決態度 13 賛成
 自民・信頼④(五十嵐京子・河野麻美・吹春やすたか・遠藤百合子)
 子ども④(片山かおる・古畑俊男・渡辺大三・高木草成)
 公明②(小林正樹・渡辺ふき子) 参政党(斎藤康夫)
 がおも(水谷たかこ) 街の仲間(清水がく)



4 反対
 緑・つながる小金井(坂井えつ子)
 共産②(水上洋志・たけ久貴)
 ネット(安田けいこ)

4 退席
 みらい④(岸田正義・沖浦あつし
 鈴木成夫・村山ひでき)

※ 森戸よう子 副議長(共産)は可否同数の場合のみ採決に参加
 ※ 宮下誠 議長(公明)は病欠 ※ 会派名は略称 ※ 敬称略

坂井のここまで 坂井えつ子プロフィール

- 1980年大阪市生まれ/10歳の時小金井市に転入
- 小金井市立緑小学校・緑中学校卒業
東京都立小金井北高校卒業/日本大学法学部卒業
日本福祉教育専門学校に入学するも中退
- サントリーパブリシティサービス株式会社(契約社員)などで働く
- 27歳の時に父、28歳の時に母が他界。仕事を辞め、母の最期は、往診や訪問看護を活用し自宅で看取る。
- 四国八十八箇所、歩き遍路で結願/「憲法9条を守り東アジアから平和な社会をつくらう」と韓国一周100日Walkに参加
- 精神障がい者支援のグループホームやドキュメンタリー映画の製作会社で働く
- 2013年小金井市議会議員選挙に初めて立候補するも60票差で落選/2015年市議補選で初当選/現在3期9年

現在

- 気候危機・自治体議員の会/LGBT自治体議員連盟/反原発自治体議員・市民連盟/全国フェミニスト議員連盟/緑の党など
- 桜町自治会役員/桜町防災会役員/けやきのまち振興会会員

応援します

市内在住

岡田暁子/岡田ちひろ/岡田哲/河合賀代/川島昭彦(道路計画地権者)/木村雄喜/こぐれみわぞう(音楽家)/小林幸江(東京外国語大学名誉教授)/斎藤陽/佐藤宮子(女子少年院外部講師)/澤田慎一郎/陣内直行/春原真子(道路計画地権者)/関根幸恵/豊田淑子/橋本美緒/福土正博(元東京経済大学教授・副学長)/益田智史(けやきのまち振興会 会長)/八木香/若林苗子



漢人あきこ
(都議会議員)



穴戸大裕
(映像作家)

市外からも!

会津素子(千葉県成田市議)/上原公子(元国立市長)/佐藤かおり(NPO法人ウィメンズネット函館理事長)/鈴木ちひろ(国分寺市議)/ブランチャー明日香(杉並区議)/間庭尚之(江東区議)/山本ようすけ(立川市議)/吉岡淳(カフェスロー代表)



川崎 彩子
(環境アクティビスト)



金聖雄
(映画監督)

新聞に取り上げられました

“国と地方は対等”とする地方分権一括法に反して、国の権限を強める法改正に反対!小金井市議会が可決した意見書について院内集会で発言した様子が記事になりました。



期間限定!坂井事務所オープン

本町4-13-2 エスカイヤ武蔵小金井104 武蔵小金井駅北口徒歩8分



発行・連絡先 坂井えつ子とつながる小金井の会

🏠 本町2-19-6 1-105
 📧 info@sakaietsuko.com
 📞 090-1796-7652



<会員募集中!> 活動のためのカンパも歓迎です 年会費:一口2,000円
 郵便振替口座:00130-3-652172 名義:坂井えつ子とつながる小金井の会

坂井えつ子の **ここ** までと **ここ** からをピックアップしました

年齢や性別・性自認、障がいの有無や程度にかかわらず、地域で安心して暮らせる小金井にしていきたい!!

ヒトも環境に生かされている!!
すべてのつながるいのちのために

もっと 小金井市に住み続けたいは83.2%
(アンケート調査「市長への手紙」/2024年度)
住み続けたいと思える小金井に

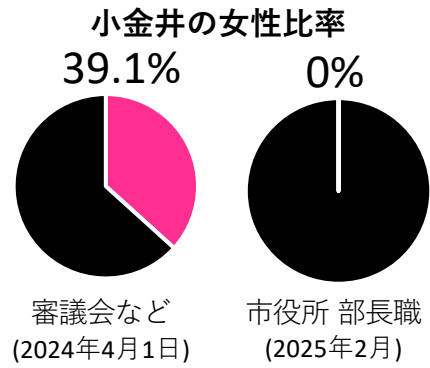
バリアフルな社会を変えたい!!

障がいのない人にはわからない“社会にあるバリア”を見つけ解消していくためには、当事者の声を聞くことが必要です。

ここ まで 障がいのある職員の声も職員募集案内に載せようと提案
→“障がい者採用職員の声”が掲載!

ここ から 多様な働き方ができるように～超短時間雇用を広めよう
すべての審議会で障がい者の意見が反映できる仕組みを
自立支援協議会に当事者部会を

議論や意思決定の場にもっと女性を増やそう。



人口の半数は女性なので、男女で二分する現状においては半数を目指そう!多様な性のあり方を尊重していく社会においてはどちらかの性が4割を下回らない構成が良いと考えます。

ここ から 男女平等推進センターをつくろう

多様な性のあり方を尊重しよう

ここ まで ■ パートナーシップ宣誓制度や、宣誓したふたりが市営住宅に入居申し込みできる制度を提案→市民からの陳情書もあり、市は制度をつくりました。
■ 坂井提案の「同性婚の法制化を求める意見書」が可決!
■ 氏名が読み上げられるので投票に行けない。というトランスジェンダーの方のお話から、本人確認方法の変更を提案→期日前投票所では、「宣誓書」を使い、氏名を読み上げずに、本人確認を行うようになりました。

ここ から ふたり+子どもの家族のあり方も対象とするファミリーシップ制度をつくろう

ヤングケアラーのサポートを

PFAS汚染の原因究明と対策を

香害・化学物質過敏症対策を

もっと市民に開かれた議会に

酷暑は、しんどい。

気候危機対策を促進していきたい!
脱炭素&脱原発のまちづくり。



ここ まで ■ 「公共施設での再エネ100%電力」や「気候非常事態宣言」「気候市民会議」を提案 →市も危機感を共有していたため、取り組みが進みました。

■ 坂井提案の「1.5度目標達成のため先進国としての責任も踏まえた第7次エネルギー基本計画を市民参加で策定することを求める意見書」が可決!

ここ から 公共施設での再エネを拡充していこう
市立学校の教室を断熱改修しよう

はけと野川をこわす道路はいらない

白井市長は、2月17日の市議会で、“3・4・11号線の必要性は否めない”と整備推進を容認してしまい、“3・4・1号線は一旦中止することが妥当”としました。重要案件における公約違反はとりわけ責任が重く、政治不信を助長しかねません。2路線反対で共に活動してきた市民や市議にも相談せず結論を出す政治姿勢は容認できません。



市長報告全文
小金井市ホームページ

崩れてしまった玉川上水!



2019年、玉川上水では、小金井市の木・けやきが「雑木」として伐採されてしまいました。先日、伐採された樹木が根本から崩れていたのはショックでした。今後の崩落も心配です。

(小金井橋東側: 2月11日)

“新庁舎・新福祉会館建設”を進めよう

2024年12月議会で、およそ131億円の工事費予算を可決しました。坂井は賛成!2025年6月の第2回定例会で工事業業者が決まれば、2028年10月オープンの予定です。

小金井市の良い点 自慢したい点 トップ5

- 58.7% みどりや水辺などの自然
- 54.1% 静かで落ちついた住環境
- 39.3% 多くの大きな公園
- 31.2% 日常生活に便利で暮らしやすい
- 29.1% 便利な通勤通学や都心へのアクセス

(2018年度 小金井市市民意向調査 報告書)

野川などのみどりに惹かれて小金井に引っ越してきた!というお声をよく聞きます。みどりと環境を生かしたまちづくりで、もっと!住み続けたい小金井にしていきたいです。



ここに道路が!!

気になるニュースの坂井の視点

選択的夫婦別姓のため、民法改正が必要!!

法務省は「把握している範囲で、結婚後に夫婦のいずれかの氏を選択しなければならないとする制度を採用している国は日本だけ」としています。“苗字が同じ≠家族の絆”は明らか。結婚して姓を変えるのは女性が約95%(男女共同参画局/2023年)ということからも、人生の選択肢を増やしていきたいです。

核禁止条約会議 オブザーバー参加を

国は、第3回 核禁止条約会議へのオブザーバー参加を見送りました。とても残念です。昨年、被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞しました。唯一の被爆国である日本から、核兵器廃絶の声を世界に伝えていく必要があります。

坂井のつぶやき

“実現しました”ってなんだろうね



市議会議員には、市長が提案する予算や政策が良いのか判断する役割や、市民の声を代弁して提案する役割があります。議員にあるのは、執行権ではなく提案権なので、坂井は“実現しました”という表現に違和感があり、使っていません。